

【1】 ユダヤ人における言語使用への意識

エルサレム・タルムード（パレスチナ・タルムード）

メギラー篇 1:8, 71b、 ソータ篇 7:3, 21c

אמ' ר' יונתן דבית-גוברין. ארבעה לשונות נאים שישתמש בהן העולם. ואילו
הן. לעז לזמר. רומי לקרב. סורסי לאילייא. עברי לדיבור. ויש אומ'. אף אשורי
לכתב.

「ベイト・グヴリーンのラビ・ヨナタンは言った。世界の人々が使用するのに相応しい言語が四つある。すなわち、外国語（la'az、ギリシャ語）は歌のために、ラテン語（romi）は戦のために、シリア語（sursi）は哀歌のために、ヘブライ語（'ivri）は会話のために。さらに別の意見がある。アッシリア文字（ashuri）は書くために。」

【2】 アラム語

2-1. 最初のユダヤ語から準神聖語へ

「ヘブライ語」と「ユダヤ語」との二言語使用

アラム語 = 最初のユダヤ語



聖書の一部（エズラ記、ネヘミヤ記、ダニエル書）、アラム語訳
（タルグム）、ラビ文献（タルムード、ミドラシュ）

→ヘブライ語に次ぐ準神聖語化

【2】 アラム語

2-2. 典礼詩（ピユート）におけるアラム語

祈り、ピユート（典礼詩）：ヘブライ語純粹主義



アラム語の侵入の3パターン

- 1) アラム語だけで書かれたピユート
- 2) ヘブライ語の行とアラム語の行を混ぜる（マカロニ詩）
- 3) 隠れた形でのヘブライ語の語彙や意味への侵入

シュムエル・ハシュリシ（10-11世紀パレスチナ）

קְבָלוֹת חִפְתָּם עַד שְׁהַמְטוּעֵינִים לֹא יָכְלוּ לְפָרְקָם וְלֹא הִמְפוֹרְקִים לְהִטְעִין

「暗闇（qavlut, QBL）が彼ら（暗闇の災い時のエジプト人、出エジプト記10:21-）を覆った。その結果、荷物を背負っている者はそれを下すことができなくなり、背負っていない者は背負うことができなくなった。」

【2】 アラム語

2-3. 外来語の入り口としてのアラム語

シュムエル・ハシュリシのピユート

הָזָה מֵה נֹרָא וּמָה עָצוּם פָּץ מְאֹקֵן בְּכֵס שְׁמַיִם

「その姿が天の御座に刻まれている者 (me'ugnan, 'QNN、ヤコブ) は言った。この場所はなんと恐ろしく、なんと巨大なのだろう (創世記28:17)、と。」
εἰκών → אִיקוֹיִן (iqonin)

アザリヤ・デ・ロッシ (16世紀イタリア) :

『外国語 (la'az) は歌のために』とは、ギリシャ語のことである。ギリシャ語は、書き言葉としても話し言葉としても適しており、我々のラビたちも使用した。・・・しかし、ギリシャ語をアラム語と誤解したラビもいた。例えば אַפּוֹתִיקָא (apotiqi, ὑποθήκη、「抵当」) は、אִפּוֹ תֵהֶה קֵאִי (apo tehe qae、「お前はここに立つだろう」) であると (11世紀フランスのラシによる、バビロニア・タルムードのババ・カマ篇11bの注解)。

【3】ヘブライ語／アラム語／各地のユダヤ語の3言語使用

リナ・ドローリ

ヘブライ語：儀式的機能

アラム語：律法的機能

ユダヤ・アラビア語：情報伝達の機能

ヨシュア・ブラウ＋ヨセフ・ヤハロム

ヘブライ語でも日常の手紙が書かれたし、逆にアラビア語でも典礼詩

【4】多言語使用のスペクトル

ヘブライ語

loyshn koydesh

イディッシュ語

Judeo-German

ドイツ語

* ユダヤ・ペルシャ語における lotora'i

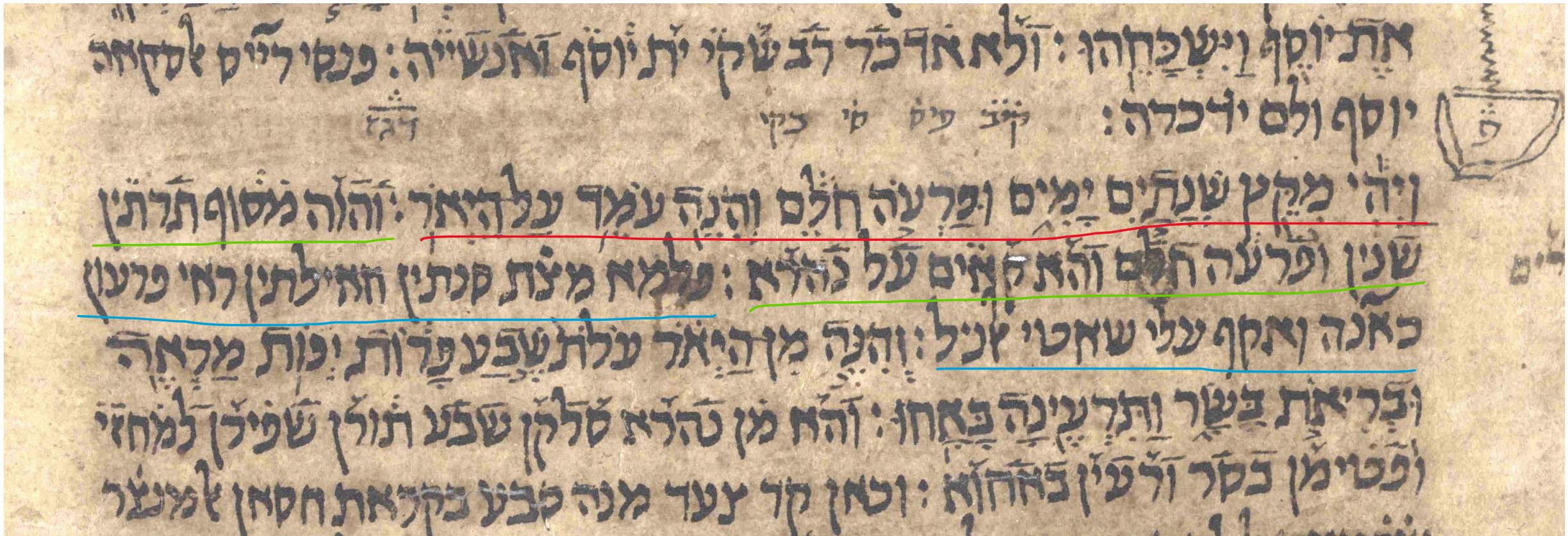
Daber nit, vayl der orl is meyn kol dibber

Dabber (話せ)、'arel (非割礼者、非ユダヤ人)、mevin (理解する)、kol (全ての)、dibbur (発話)

「話すな。非ユダヤ人は全ての会話を理解するから。」

【5】 聖書翻訳

3言語（ヘブライ語、アラム語、アラビア語）バージョンの聖書
T-S B1.25、創世記41:1「それから二年たって、ファラオは自分
がナイル川のほとりに立っている夢を見た。」



【5】 聖書翻訳

翻訳借用

イディッシュ語訳聖書：Taytsh

ラディーノ語（ユダヤ・スペイン語）訳聖書：Ladino

ユダヤ・アラビア語訳：Sharḥ

ミシュナ・サンヘドリン篇10:1のラディーノ語訳：

Kol Yisra'el yesh la-hem ḥeleq la-'olam ha-ba

Tódo Yisraél ay a éyos páрте a el mundo el vinyén

Kol（全ての）、Yisra'el（イスラエル）、yesh（ある）、

la-hem（彼らには）、ḥeleq（分け前）、la-'olam（世界の）

ha-ba（次の）「イスラエル人には誰でも、来世での分け前がある。」

【6】 宗教的アイデンティティと言語 (文字) 選択

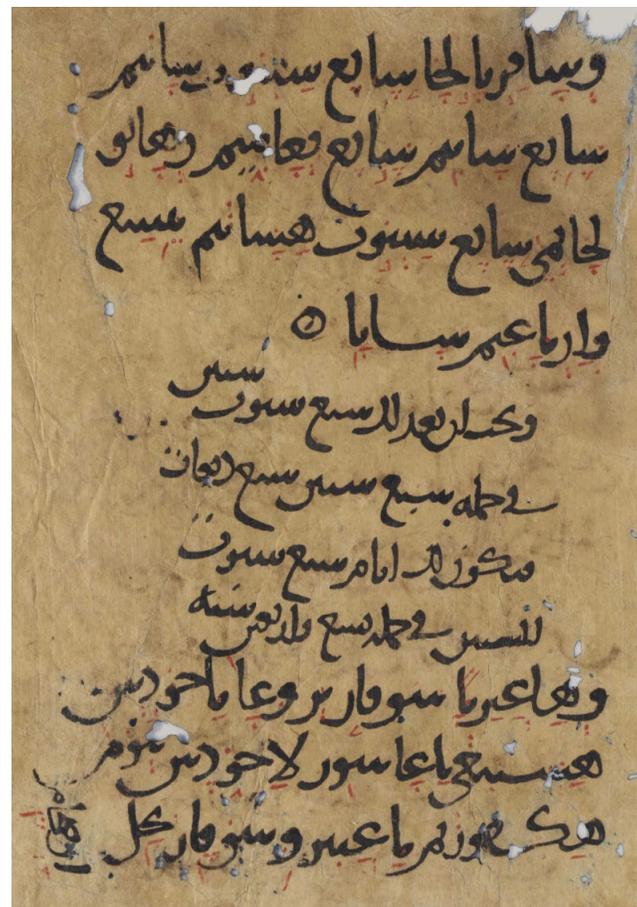
カライ派 ⇔ ラビ・ユダヤ教

1. アラム語使用の拒否
2. アラビア文字の使用

Karabic

T-S Ar.41:18、レビ記25:8-9

「あなたは安息年を七回、つまり、七年の七倍を数えなさい。七回の安息年の期間は四十九年である。その第七の月の十日に角笛を響かせなさい。贖いの日であるから、全地に角笛を響かせなければならない。」



【7】 ユダヤ諸語の重要性

第一点：ある言語や方言の歴史上の最初の記録であることも

第二点：比較ディアスポラ語学の可能性

ガルシューニ